

# 流通の課題

③

## 岐路に立つイ草

第2部

2011・9・25

カチカチする。  
しかし、仮設住宅にもともと  
畳が無かったのか、というところ  
ではない。

Kタイプは、6畳と4畳半の和  
室にキッチン、ユニットバス付  
き。1Kは6畳の和室で、いず  
れも居室は畳敷きだった。

1年中越地震までは畳敷きの  
部屋を設けることになってい  
た、と言っ

連絡もなかったと憤る。ただ、  
増田さんが表情を曇らせるのは  
別の理由がある。  
1993年8月、増田さんが  
豊店を営む鹿兒島市は大水害に  
見舞われた。「浸水したほとん  
どの家で、畳の部屋が例えは2  
部屋から1部屋に減り、ゼロに  
なった家も数軒に1軒あった」  
と増田さん。

神戸市などがまとめた記録に  
よると、1995年に起きた阪  
神淡路大震災時の仮設住宅の2

変わったのは行財政改革を推  
進した小泉内閣の時代、国土省  
住宅生産課の担当者は「ブレハ

同担当者は「大規模災害時に  
大量に畳を調達することが難し  
いことや解体後の処分が苦勞す  
ること、カーペットに比べ設置  
に手間がかかることなどの理由  
で標準仕様が変わったようだ」  
と説明する。

理由はぬれた畳の扱いにく  
さ。一枚約30kgの畳が水を吸う  
と120kgにもなる。「片付け  
の時に押しでも引いても動か  
ない。板張りにしてしまえ、と思  
うのも分かる。津波被害が大き  
かった今回もそうなりかねな  
い」

「居室（間、寝室、洋室）  
と押し入れの床はタイルカーペ  
ット」「台所、トイレ、玄関の  
床は塩ビシートまたはクッション  
フロア（C/F）シート」「浴  
室はユニットバス」。

建物の構造や外装、内装など  
の仕様を記入した一覧表があ  
る。東日本大震災の被災地に並  
ぶ仮設住宅は原則、社団法人フ  
レハブ建築協会（東京）が定め  
た「標準仕様書」に沿って建て  
られる。仕様書の居室部分に  
「畳」の文字はない。

「畳」の文字はない。  
タイルカーペットは近年、ピ  
ルの会議室やオフィスなどでよ  
く目にする。一辺50cmほどの製  
品を必要な分だけ床に並べて使  
う。施工は簡単だが、仮設住宅  
の入居者が畳に慣習でじかに座  
ったり、寝たりすると素肌が「チ

## 仮設住宅①



運動公園の敷地内に整然と立ち並ぶ仮設住宅  
＝7月28日、宮城県東松島市

# 「標準仕様」から消えた畳

一方、フレハブ建築協会の担  
当者は「解体した建材は再利用  
や再資源化されるようになった  
が、畳は廃棄物になることが最  
大の理由」とした上で、「実際  
に仕様を決めるのは発注者の都  
道府県。今回も岩手県のように  
一部で畳を入れた所もある」と  
話す。

これに対し、全国の畳店をつ  
くる全日本畳事業協同組合の理  
事長の増田勇さん（68）は「国や  
フレハブメーカーなどに「畳を  
用意できる」と伝えたのに何の

東日本大震災で全半壊した建  
物は約28万戸。本格的な復興は  
これからだが、果たして畳の需  
要が増えるのか。逆に畳離れを  
加速させるのではないかと。増田  
さんは深刻に受け止めている。  
（渡辺哲也、和田毅）

（渡辺哲也、和田毅）